

1. 恒久対策工法の検討

(1) 対策の方向性

平成18年1月に開催された第1回安全性確認調査専門会議において、生活環境保全上の支障またはそのおそれの除去対策に関して、以下のとおり対策の方向性が検討されている。

(H18.10安全性確認調査報告書より抜粋)

対策の方向性としては、大まかに①廃棄物の撤去、②ガス抜き・雨水浸透防止対策、③経過観察の三つの案が考えられるが、①については、廃棄物の掘削により新たな環境負荷が発生するおそれ大きいこと、工事期間が長いことなどの問題点があり、また、③については、生活環境保全上の支障のおそれが除去できないことから、②の案が最も妥当と考えられる。

対策	①廃棄物の撤去	②ガス抜き、雨水浸透防止等	③経過観察
概要図			

この対策の方向性を踏まえ、措置命令(①発生ガスの排除及び処理②雨水の浸透防止③廃棄物の飛散流出の防止)を発出しており、今回行う恒久対策工法の検討にあたっては、この対策の方向性を踏まえて検討を進めていく。

(2) 工法検討の基本方針

- ・将来にわたって周辺環境への影響を防止し、周辺地域の安全安心が確保できる工法であること。
- ・技術的にも経済的にも合理性の高い対策工法であること。
- ・措置命令により講ずべき措置に対応する工法であること。

(3) 恒久対策工法の選定

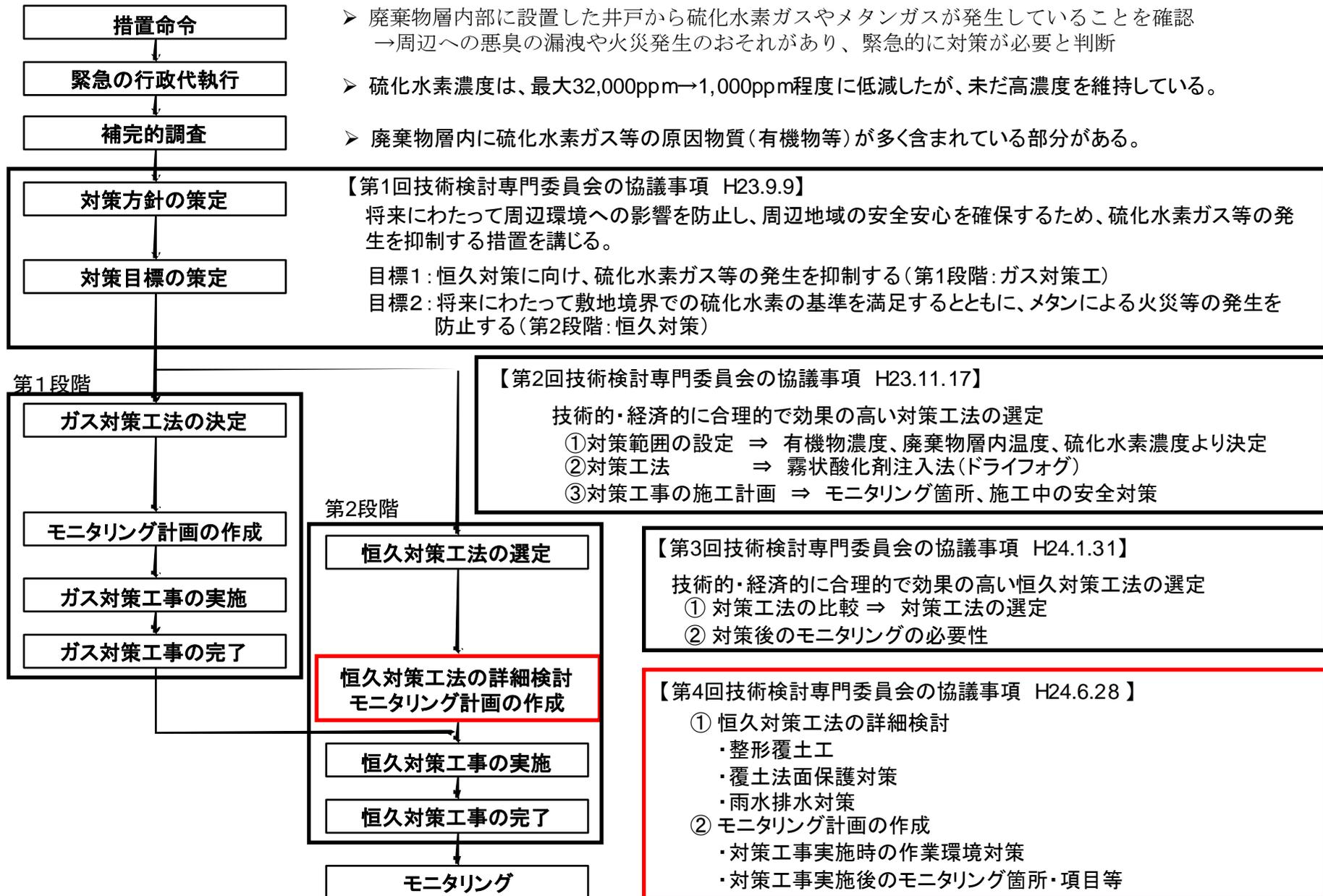
基本方針に基づく対策案として、「覆土工」、「整形覆土工」「整形遮水シート工」の3案を提案し、各案に対して、周辺環境への影響、経済性、維持管理、支障除去の確実性の観点から評価し、比較検討を行った。その概要は以下のとおりである。

工法	第1案 覆土工	第2案 整形覆土工	第3案 整形遮水シート工
概要図			
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 掘削を行わず、処分場全体を覆土する工法である。 廃棄物撤去量が少なく、施工中の周辺への環境影響は他案に比べ優れているが、施工費、景観面、維持管理面で劣っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 整形（一部撤去を伴う）後に処分場全体を覆土する工法 整形に伴い一定規模の廃棄物の搬出を伴うため、施工中の周辺への環境対策を要するほか、廃棄物撤去費用が生じるが、費用面、景観面及び維持管理面で他案に比べ優れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 整形（一部撤去を伴う）後に遮水シートを処分場全体に敷設する工法 シートの設置により雨水の浸透防止効果は最も高いが、シートの劣化に伴う破損や張替え等が生じるため、維持管理面で劣っている。

2. 委員会での主な意見

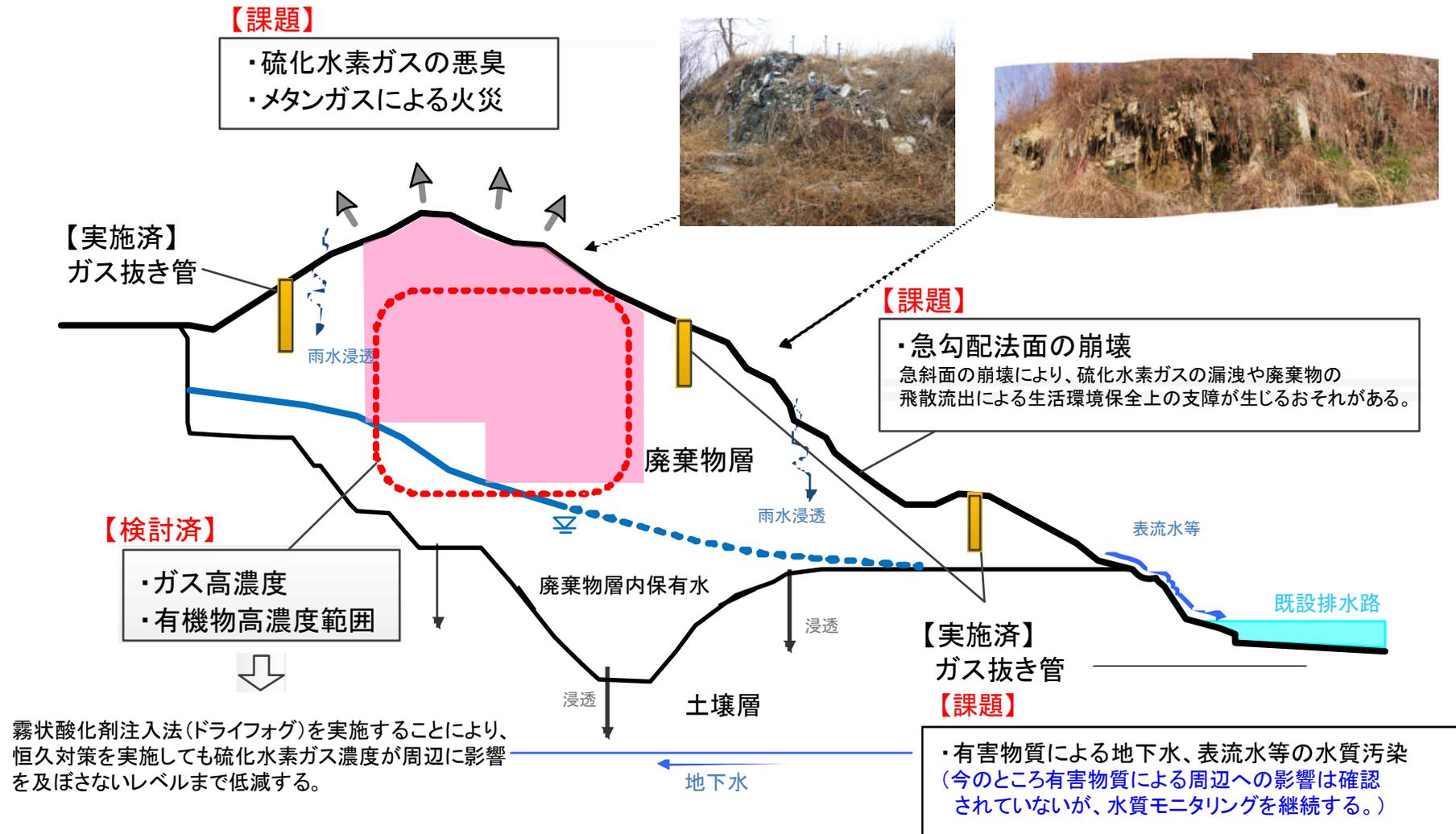
- (1) 恒久対策の工法としては、**第2案の整形覆土工が有効な工法**と考えられる。
- (2) 整形覆土工は、廃棄物を残置することから、**対策完了後のモニタリングや施設の点検管理等の方法についても、今後、検討が必要**である。
- (3) **整形覆土工の法面安定勾配や法面保護方法についても、今後、検討が必要**である。

3. 対策工法検討の進め方

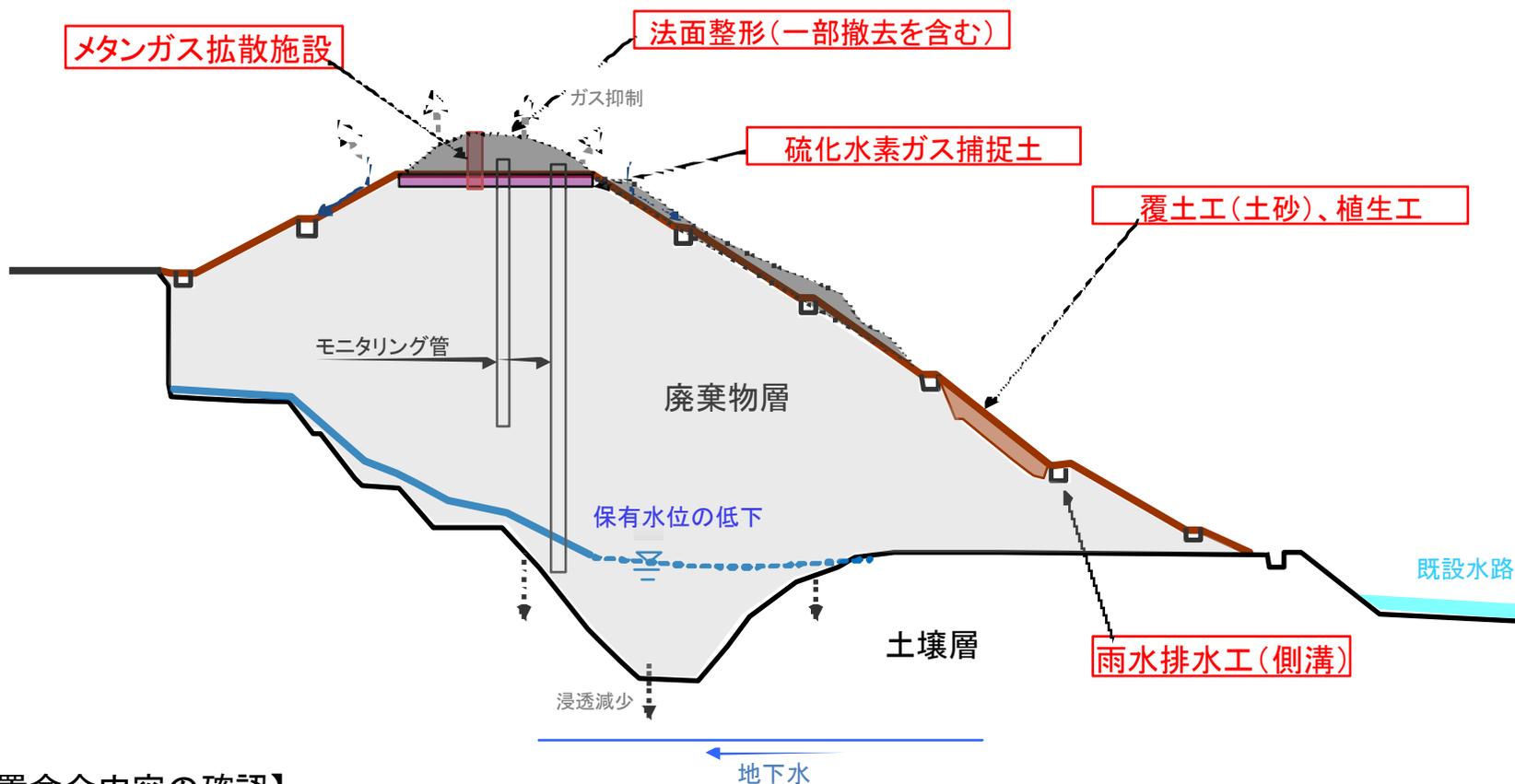


4. 恒久対策検討に向けた現状における課題(リスク)の整理

(急勾配法面の状況写真)



5. 恒久対策(第2案:整形覆土工)概略断面図



【措置命令内容の確認】

措置命令内容	①発生ガスの排除及び処理	②雨水の浸透防止	③廃棄物の飛散及び流出の防止
緊急ガス対策 (ガス回収工事)	・ガス抜き管 ・硫化水素ガス処理装置	—	—
ガス対策(第1段階)	・霧状酸化剤注入法	—	—
恒久対策(第2段階)	・整形覆土工(硫化水素、メタン) ・硫化水素ガス捕捉土(硫化水素) ・メタン拡散施設(メタン)	・整形覆土工、植生工 ・雨水排水工	・整形覆土工